

鈴鹿 若松 周辺

江戸時代にロシアを見た男
大黒屋光太夫歴史の町を訪ねて

発行：鈴鹿市観光協会
協力：大黒屋光太夫顕彰会

【大黒屋光太夫】
宝暦元年(1751)龜山藩領南若松村(現鈴鹿市)
龜屋に生まれ、後に大黒屋を継ぎました。

天明2年12月、紀州藩の廻米や木綿などを積んだ
神昌丸(乗組員17名)で、白子から江戸へ向かう途中、
暴風雨のため遠くアムチカ島(アリューシャン列島)
に漂流されました。飢餓と酷寒で仲間を失いながら、
一行はシベリアの中心地イルクーツクに到着。その後、
帰国を熱望する光太夫は、ロシア人の助けを受け
シベリアの都ペテルブルグに上り、エカテリーナ
II世に拝謁し、帰国を許されました。

日本との交易を国策とするロシアは、使節とともに
光太夫らを送還することを決定し、光太夫は、寛
政4年(1792)根室に帰国しました。10年ぶりに帰國
できたのは光太夫・磯吉・小市(根室で死亡)の3人
だけでした。

翌年、11代將軍 家斉の面前で行われた光太夫・
磯吉の報告は、その体験・見聞とも誠に貴重で、「北
槎聞略」という名の書物にまとめられ、国の重要文化財
に指定されています。また、光太夫のロシア語の知識も洋学者らに高く評価されました。

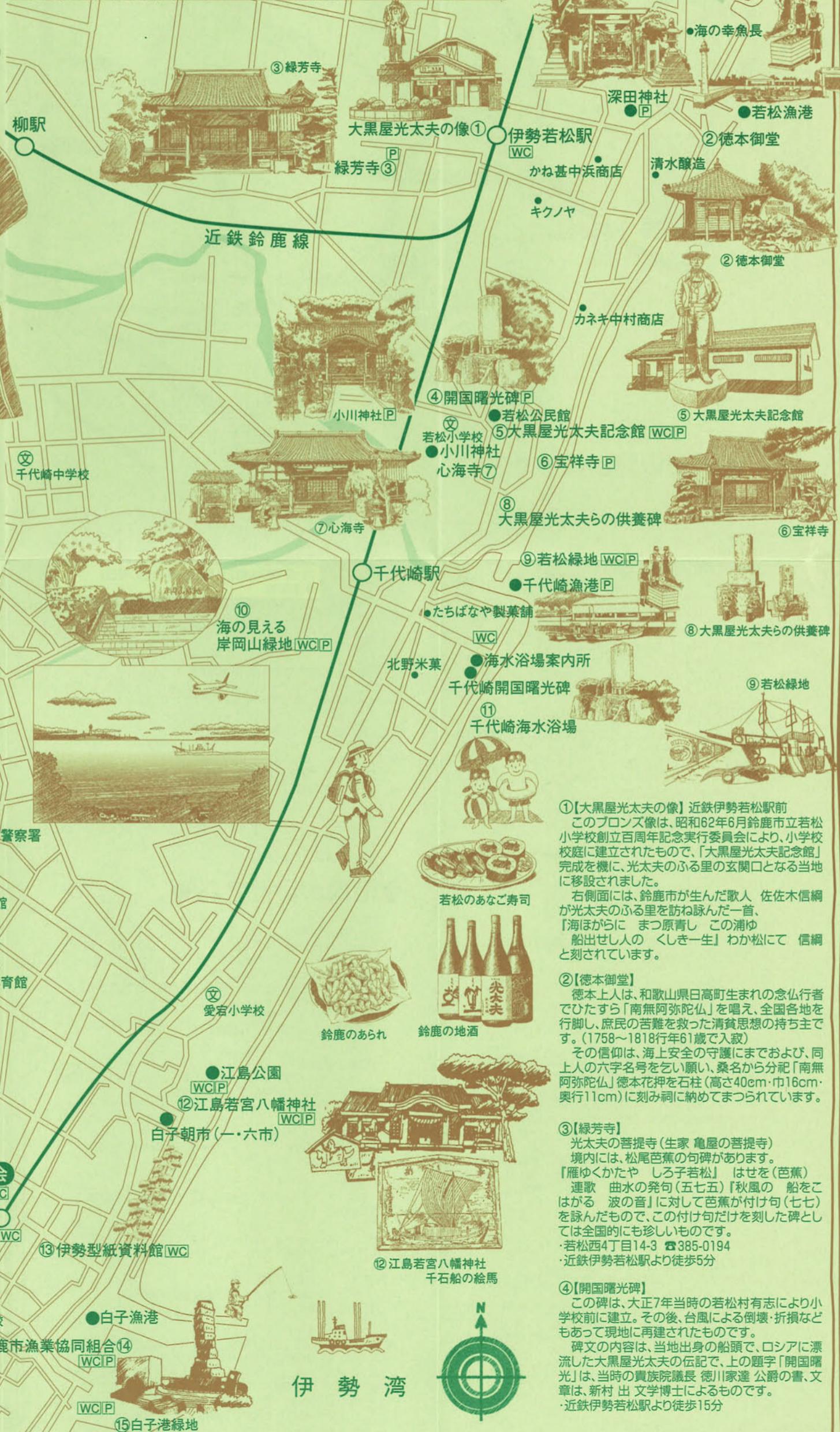
ロシアを紹介し、国際文化交流の先駆者となった
光太夫は、文政11年(1828)78歳で没し、江戸本郷の
興安寺に葬られました。

歩いてみよ

大黒屋光太夫歴史の町「若松」の由来

天平12年(740)聖武天皇伊勢行幸の際の御製
『妹に恋い 吾の松原 見渡せば 潮干の潟の 田鶴鳴き渡る』(万葉集)や、
『雪降れば 若の松原 うすもれて 潮干の田鶴の 声ぞ寒けき』(新古今集)など、
往古の昔から、若の松原は歌枕として数多く使われ、いつしか若松の名が定着したと伝えられています。

【光太夫漂流巡路図】——往路 ——帰路



至四日市

近鉄
名古屋線



深田神社

キクノヤ

カネキ中村商店

清水醸造

②徳本御堂

⑤大黒屋光太夫記念館

千代崎漁港

たちばなや製菓舗

千代崎開国曙光碑

千代崎海水浴場

若松のあらわ

鈴鹿の地酒

江島公園

江島若宮八幡神社

伊勢湾

①【大黒屋光太夫の像】近鉄伊勢若松駅前
このブロンズ像は、昭和62年6月鈴鹿市立若松小学校創立百周年記念実行委員会により、小学校校庭に建立されたもので、「大黒屋光太夫記念館」完成を機に、光太夫のふる里の玄関口となる当地に移設されました。

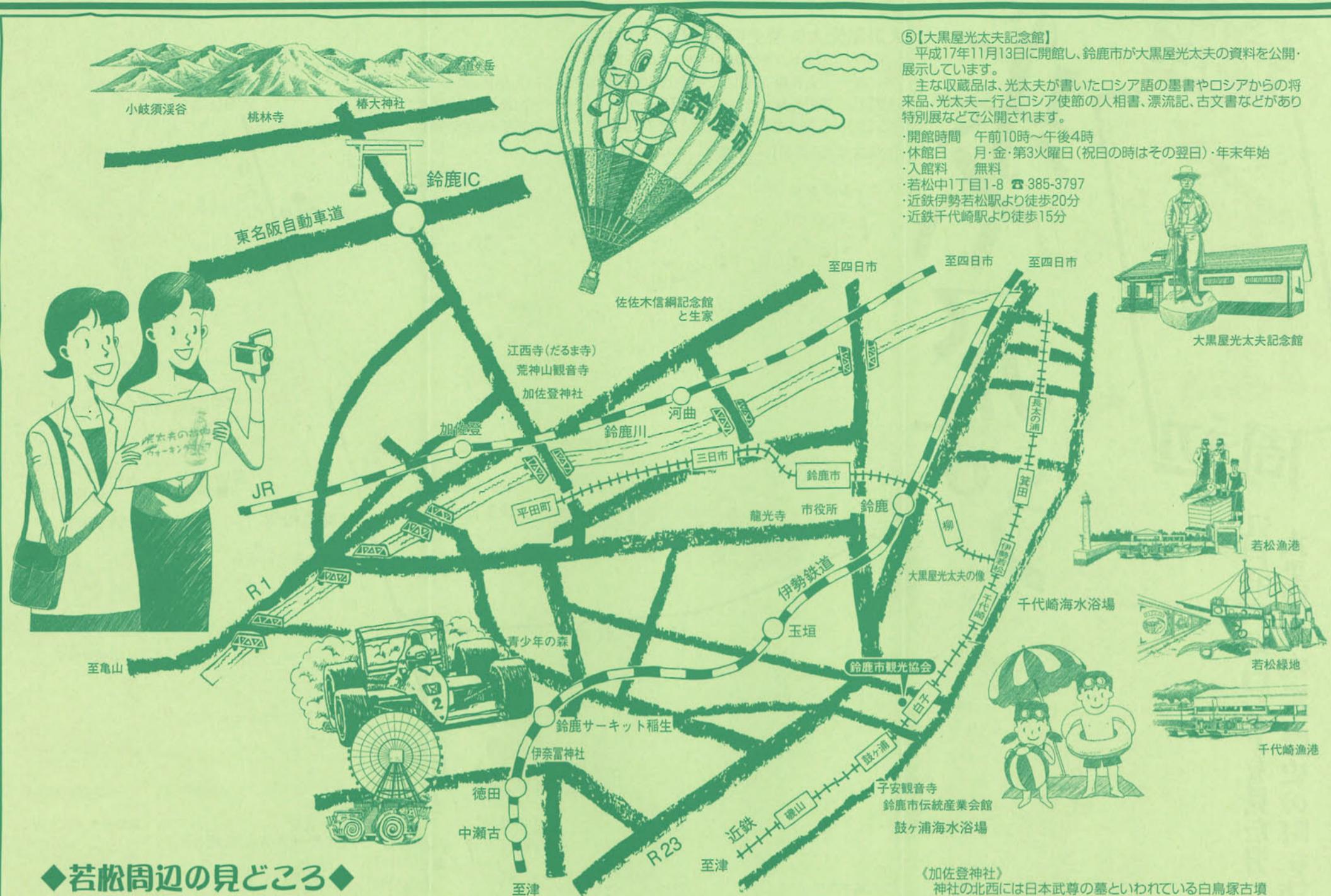
右側面には、鈴鹿市が生んだ歌人 佐佐木信綱が光太夫のふる里を訪ね詠んだ一首、「海ほがらに まつ原青し この浦ゆ 船出せし人の くしき一生」わか松にて 信綱と刻されています。

②【徳本御堂】
徳本上人は、和歌山県日高町生まれの念仏行者でひたすら「南無阿弥陀仏」を唱え、全国各地を行脚し、庶民の苦難を救った清貧思想の持ち主です。(1758~1818年61歳で入寂)

その信仰は、海上安全の守護にまでおよび、同上人の六字名号を乞い願い、桑名から分祀「南無阿弥陀仏」徳本花押を石柱(高さ40cm・巾16cm・奥行11cm)に刻み祠に納めてまつられています。

③【緑芳寺】
光太夫の菩提寺(生家 龜屋の菩提寺)
境内には、松尾芭蕉の句碑があります。
『雁ゆかたや しろ子若松』はせを(芭蕉)
連歌 曲水の発句(五七五)『秋風の 船をこ
はがる 波の音』に対して芭蕉が付け句(七七)
を詠んだもので、この付け句だけを刻した碑とし
ては全国的に珍しいものです。
・若松西4丁目14-3 ☎ 385-0194
・近鉄伊勢若松駅より徒歩5分

④【開国曙光碑】
この碑は、大正7年当時の若松村有志により小学校前に建立。その後、台風による倒壊・折損などもあって現地に再建されたものです。
碑文の内容は、当地出身の船頭で、ロシアに漂流した大黒屋光太夫の伝記で、上の題字「開国曙光」は、当時の貴族院議長 徳川家達 公爵の書、文
章は、新村 出 文学博士によるものです。
・近鉄伊勢若松駅より徒歩15分



◆若松周辺の見どころ◆

⑥【宝祥寺】

小市の菩提寺。
境内には小市の供養碑が建てられています。
・若松東1丁目7-32 ☎ 385-1498
・近鉄伊勢若松駅より徒歩20分
・近鉄千代崎駅より徒歩15分

⑦【心海寺】

磯吉の菩提寺。大黒屋家の菩提寺。
境内には寄進者、大黒屋銀太夫・同彦太夫の名が享保14年(1729)の年号とともに刻まれた御手洗石があります。
・若松中1丁目3-34 ☎ 385-1224
・近鉄伊勢若松駅より徒歩15分
・近鉄千代崎駅より徒歩15分

⑧【大黒屋光太夫らの供養碑】

南若松の船頭大黒屋光太夫以下17名の乗組んだ神昌丸は、天明2年12月白子港を出帆、江戸に向う途中遠州灘で暴風に遭い、遠くアリューシャン列島に流されました。

郷里では、全員死亡と考えられ、三回忌にあたる天明4年、荷主である江戸大伝馬町組の長谷川氏が施主となって、供養塔を建てました。碑は、高さ130cm・下部台70×62cm、正面には「南無阿弥陀仏・釈久味靈・俗名 光太夫」左側面に遭難経過、右側面に乗組員名、裏面に施主名と建立年月が刻まれています。

毎年光太夫の命日4月15日には、大黒屋光太夫顕彰会主催の墓碑供養が行われています。
・近鉄伊勢若松駅より徒歩25分
・近鉄千代崎駅より徒歩10分

⑨【若松緑地】

堤防に絵巻物風に描かれた「光太夫漂流巡路図」には、苦難10年間の顛末が記されています。
また、帆船工カーテーナⅡ世号をイメージした遊具があり、楽しむことができます。
・近鉄伊勢若松駅より徒歩25分
・近鉄千代崎駅より徒歩10分

⑩【海の見える岸岡山緑地】

鈴鹿市東部唯一の緑地で、多くを公園として整備されています。展望台から伊勢湾を望む眺望はすばらしく、晴れた日には遠く知多半島や中部国際空港(セントレア)が望めます。
また元旦のご来光には絶景のスポットです。
・近鉄千代崎駅より徒歩10分

⑪【千代崎海水浴場】

伊勢湾の中、県内最も北に位置する海水浴場で、最近はカラフルなボードセイリングやジェットスキーの若者でにぎわっています。
・開設時期 6月下旬~8月下旬
・千代崎案内所 ☎ 388-0206(夏期のみ)
・近鉄千代崎駅より徒歩5分

⑫【江島若宮八幡神社】(千石船の絵馬)

醍醐天皇の時代(897年~930年)にこの地に奉還されたと伝えられています。
江戸時代の71面が江島若宮八幡神社絵馬群として、県指定文化財になっています。絵馬は航海の安全、商売繁盛を祈願して廻船問屋、積荷問屋などが奉納したもので船絵馬をはじめとして、七福神、武者絵などがあります。
・東江島町5-7 ☎ 386-4773
・近鉄白子駅より徒歩15分

⑬【伊勢型紙資料館】

平成6年3月11日鈴鹿市指定史跡で、型紙関係の商家として、また町家建築の代表例として寺尾家の住宅を一般開放し、伝統産業である伊勢型紙関係資料を展示しています。
・開館時間 午前10時~午後4時
・休館日 月・火・第3水曜日(但し月曜が祝日の場合は開館) 年末年始(12月28日~1月4日)
・実演時間 毎月第4曜日(午後1時~午後4時)
・入館料 無料
・白子本町21-30 ☎ 368-0240
・近鉄白子駅より徒歩3分

⑭【鈴鹿市漁業協同組合・鮮魚直売市】

白子港で水揚げされた伊勢湾の新鮮な魚介類を、鈴鹿市漁業協同組合直営で販売しています。午前中は魚の種類などが豊富なので、毎日たくさんの主婦たちで賑わいます。
また、毎月第1土曜日は、出店も設置され、多くの人々で賑わいます。
・営業時間 午前9時~
・休業日 毎週水曜、日曜、祝日
・白子1丁目6281-21

⑮【白子港緑地】(大黒屋光太夫出帆の地)

およそ200年前に大黒屋光太夫らが出帆した白子港も現在では新しくなり、記念碑が建てられています。
・近鉄白子駅より徒歩20分

◆市内の見どころ◆

《椿大神社》

鈴鹿山系の中央、入道ヶ岳の麓に鎮座し、みちびきの祖神「猿田彦大神」を祀る社の總本宮であり、「伊勢の国一の宮」に定められています。参道の両側には樹齢数百年の檜・杉の古木が立ち並び、おかし難い靈気に満ちています。

また、故松下幸之助氏が、日本庭園と共に寄進された「鈴松庵」も有名です。

・山本町1871番地 ☎ 371-1515
・C-BUS停「椿大神社」下車徒歩1分
・鈴鹿ICより車で10分

《荒神山観音寺》

「荒神山の喧嘩」や、春日局が寄進したといわれる釣り鐘があることで有名な真言宗の荒神山観音寺。
4月7日の春祭りには火渡りも行われ、多くの参拝者が賑わいます。

・高塚町1177番地 ☎ 379-0331
・C-BUS停「荒神山・フラワーパーク」下車徒歩1分
・鈴鹿ICより車で15分

《江西寺》

通称「だるま寺」と呼ばれ親しまれている臨済宗金剛山江西禅寺。

毎年2月11日に願いを込めてだるまの片眼を開け、願いのかなつたるまは、10月5日に消去大供養が行われその時に焚かれる「満願の火」は、縁起が良いとされ、多くの参拝者が賑わいます。

・深溝町1614番地 ☎ 374-2796
・C-BUS停「深伊沢地区市民センター」下車徒歩2分
・鈴鹿ICより車で10分

《桃林寺》

入道ヶ岳の麓にある「龍雲山桃林寺」は臨済宗東福寺派の禅寺で、海拔200mの山門からは鈴鹿の町並みと伊勢湾をとおして志摩半島、知多半島が一望でき絶景です。精進料理も楽しめます。(予約制)

・小岐須町800番地 ☎ 371-0528
・C-BUS停「桃林寺」下車徒歩3分

⑤【大黒屋光太夫記念館】

平成17年11月13日に開館し、鈴鹿市が大黒屋光太夫の資料を公開・展示しています。

主な収蔵品は、光太夫が書いたロシア語の墨書きやロシアからの将來品、光太夫一行とロシア使節の人相書、漂流記、古文書などがあり特別展などで公開されます。

・開館時間 午前10時~午後4時

・休館日 月・金・第3火曜日(祝日の時はその翌日)・年末年始

・入館料 無料

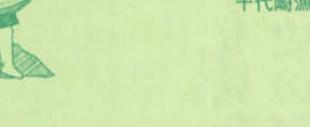
・若松中1丁目1-8 ☎ 385-3797

・近鉄伊勢若松駅より徒歩20分

・近鉄千代崎駅より徒歩15分



大黒屋光太夫記念館



千代崎漁港

《加佐登神社》

神社の北西には日本武尊の墓といわれている白鳥塚古墳があり、日本武尊の靈が白鳥になって飛び去ったという伝説があります。

境内は紫つづじの名所で、見頃は4月上旬。春祭は4月8日です。

・加佐登町2010番地 ☎ 378-0950

・C-BUS停「加佐登神社」下車徒歩5分

《鈴鹿サーキット》

遊園地モートピア・国際レーシングコース・プール・ホテル・温泉などがあり、一大モータースポーツリゾートとなっている鈴鹿サーキット。

全長約5.8kmの国際レーシングコースは、8時間耐久ロードレースはじめ世界選手権レースから初心者向けレースまで多彩なレースが開催され、モータースポーツファンに熱い興奮を贈り届けています。

また、モートピアはエンジンで動く乗り物がたくさんあり、「コチラのフツチタウン」や「ビビラのモトフィールド」など子供から大人まで思いきり楽しめます。そして、世界各国の本場の味覚を味わえるレストラン、みんなの冒險プール「アクア・アドベンチャー」や天然温泉「クア・ガーデン」など1度では遊びきれないほどの魅力が溢れています。

・稻生町7992番地 ☎ 378-1111

・近鉄白子駅より三交バス鈴鹿サーキット行13分

《子安觀音寺》

「白子の子安觀音」の呼び名で親しまれる高野山真言宗の觀音寺。

ご本尊は、その昔、鼓ヶ浦の海中から、赤ん坊に背負われて現れたといいう「白衣觀世音」安産・子育て・子授けに體験あらたかで全国各地から参拝者が訪れます。国指定天然記念物「不斷桜」や県指定文化財の仁王門・銅燈籠のほかに、俳人山口誓子ゆかりの「静思庵」があります。

・寺家3丁目2-12 ☎ 386-0046

・近鉄鼓ヶ浦駅より徒歩3分

《鈴鹿市伝統産業会館》

当館は「伊勢形紙」と「鈴鹿墨」という伝統産業を広く後世に残していくことを願って開設されました。

展示中の作品は江戸期から現代までの代表作ばかりです。長い年月によって育まれた美しい技をご鑑賞ください。

・寺家3丁目10-1 ☎ 386-7511

・近鉄鼓ヶ浦駅より徒歩10分

・休館日 毎週月曜日

INFORMATION

・体育館(テニスコート)	☎ 387-6006	【バス・C-BUS】
・武道館	☎ 388-0940	・三重交通中勢営業所
・鼓ヶ浦サン・スポーツランド	☎ 386-3745	☎ 059-233-3501
・大黒屋光太夫記念館	☎ 385-3797	【鉄道】
		・伊勢鉄道
		☎ 383-2112
【タクシー】	・近鉄タクシー	・近鉄白子駅
	☎ 386-1161	☎ 386-0024
	・三交タクシー中部	・近鉄伊勢若松駅
	☎ 382-1381	☎ 385-0177
・鈴鹿タクシー	☎ 378-0118	
・日の出タクシー	☎ 386-1256	
・ホンダタクシー	☎ 378-0346	
・名鉄タクシー	☎ 384-5678	

■お問い合わせ■

鈴鹿市観光協会 ☎ 051-0241
TEL 059-380-5595 FAX 059-380-5596

●鈴鹿市観光協会ホームページ <http://www.kanko.suzuka.mie.jp/>

